

施設概要

CARD-DATA

貯水池の水を、サイフォンの原理（高い位置の取水口と低い位置の吐口を水で満たした管でつなぐと、自然と吐口に水が流れる仕組み）で分水槽に導水して、一時的に貯めた水を利用目的ごとに分配する。

発電用と農業用の取水位はEL157.50mと低く造られていることから、先行して送水される。分水槽に導水された水のうち、発電用と農業用に送水しても余る水は、余水吐きから洪水吐に送水されて七瀬川に戻る仕組み。

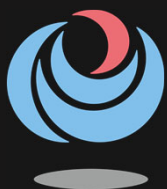
ランダム情報

分水槽はダム下流の左岸側に配置されている。取水口は選択取水設備で、吐口の分水槽までの利水放流管は約400m。利水放流管は、地下約65mの深さに配置されている。

施設DATA

DATA No.

202110



国土交通省

施設名 分水槽

装備品 発電用制水ゲート、灌漑用制水ゲート、分水槽排水ゲート、発電用排砂ゲート

ゲート 手動開閉装置、スピンドル、ステンレス鋼製スライドゲート

発電用制水ゲート 取水位EL157.50m 取水口EL154.70、 ϕ 1.10m ゲート1.25m×1.25m 発電用水圧鉄管 ϕ 0.70m

灌漑用制水ゲート 取水位EL157.50m 取水口EL157.30、 ϕ 0.30m ゲート0.42m×0.42m 灌漑用配管 ϕ 0.30m

余水吐き 吐き口EL158.0m、L=7.0m

分水槽排水ゲート ゲート0.56m×0.62m 排水口EL153.75m、H0.50m×W0.50m

発電用排砂ゲート ゲート0.56m×0.62m 排水口EL154.95m、H0.50m×W0.50m